

公明党 横浜市会ニュース 第54号

民衆の声
ボイス

VOICEよこはま

公明党横浜市議員団 〒231-0017 横浜市中区港町1-1 TEL 671-3023 FAX 681-2060 http://www.yhkomei.com/ E-mail: shikai@yhkomei.com



Port of
Yokohama
2011



横浜港は、横浜市を代表する観光スポットであるとともに、日本の輸出入貨物の9割以上を担う主要港のひとつとして、市内の雇用・所得の約3割を支える重要な経済基盤でもあります。

■国際拠点港湾としての生き残りをかけ
国際貿易港として発展してきた横浜港は、世界経済の中心が米国からアジアへと移行し、また船舶の大型化に対応した大水

深の港湾がアジア各地に建設されるとともに変化してきました。

現在は、東京港、川崎港とともに「京浜港」としての連携の下、超大型コンテナ船が就航する北米など基幹航路の寄港地としての生き残りを賭け、国の港湾施策である「国際コンテナ戦略港湾」に選定された阪神港とともに、国に提出した改革案の実現に取り組み始めたところです。

今後、①国内における東日本のメインポート ②韓国・釜山港等に対峙する日本のハブポート ③東アジアの国際ハブポ

「国際コンテナ戦略港湾」に選定された 横浜港を物流と環境のハブ(拠点)に!

トの3つの目標達成を目指すために、南本牧ふ頭への大水深バース整備や、ターミナル使用料の低減、内航輸送力の強化、ターミナルの生産性向上等々が必要として、国に「総合特区」の創設を働きかけています。

■世界に冠たる美しい街・港・横浜
一方、美しい景観が人々を魅了する横浜港は、地球の表面積の7割を占める世界の海洋への玄関口でもあります。

生物多様性や地球温暖化防止への関心の高まりとともに、横浜地域全体で展開されているさまざまな環境保全活動の成果は、市域を流れる河川を伝って横浜港に集約されており、横浜港の水質や横浜港に生息する多様な生物の状況が、私たち横浜市民の環境保全活動全体の成果を表していると言っても過言ではありません。

こうした意味から、私たち公明党は、「世界に冠たる美しい街・港・横浜」を実現するため、市民、経済界、学識経験者を交えた「検討会」の設置を提案しています。

*国際コンテナ戦略港湾とは?

国際競争力のあるアジアのハブ(拠点)港を目指し重点整備する港湾。昨年、国土交通省より京浜港と阪神港が選定されました。

大場茂美副市長に2万395名の要望署名を提出! 泉区で安心して出産できる体制の整備を!

げんなみ正保市議と公明党泉支部女性局は、1月12日、大場茂美副市長に対して、「泉区で安心して出産できる体制の整備」を求める要望書(林市長宛)を2万395名分の署名簿を添えて提出しました。

要望書では、

- ① 泉区内で出産できる体制の整備
- ② 周産期救急医療※体制の確立を求めました。

席上、大場副市長は「署名簿を重く受け止めます」「子供たちの安心できる環境作りが、一番大事です。市長も子供政策が、大事だと考えています。」「また、「横浜市でも、子宮頸がん予防、ヒブ、小児用肺炎球菌のワクチン接種事業を2月から実施したい」



横浜市議員
げんなみ 正保

また、この施設も、産科との連携が極めて重要な小児科医師が不足している状況にあります。そのため、妊婦さんから「妊娠はしたけれど、無事に出産できる病院・施設が身近に少ない」と出産に対する不安の声が寄せられています。



※周産期救急医療とは……
出産前後の母子を守る救急のこと、周産期に母体、胎児、新生児を総合的に管理して母と子の健康を守るのが周産期医療です。

妊娠の異常、分娩期の異常、胎児・新生児の異常に適切に対応するために産科医と小児科医が常時当直し、その他の医療スタッフとの連携医療もはかる医療施設です。

げんなみ正保は、2万395名の区民の皆さまの声を受け、未来を担う子ども達を安心して育児できる体制づくりに、全力で取り組んでまいります。

※周産期とは……
妊娠後期から新生児早期までのお産にまつわる時期をいいます。具体的には、妊娠22週から出生後7日未満の期間になります。

公明党横浜市議員団は、これまでも率先して産科病床・助産所等の設置、医師等の人材確保に取り組んできました。昨年10月には、出産取扱施設の出産予約状況を案内する《産科あんしん電話相談》を開設するなど、身近で安心して出産できる環境整備に全力で取り組んでいます。

産科あんしん電話相談

(いいお産)

Tel.045-228-1103